FortiGate-3000



クイックスタート ガイド

商標

本書記載の製品は、各権利者の所有する商標または登録商標です。

準拠規格

FCC Class A Part 15 CSA/CUS

2004 年 11 月 3 日

テクニカルサポートは、http://www.fortinet.com をご覧ください。

01-28005-0040-20041103

FortiGate-3000 の LED 表示

LED	状態	説明
電源	グリーン	FortiGate-3000 の電源がオンになっています。
	オフ	FortiGate-3000 の電源がオフになっています。
ディスプレーパネル / インタフェース LED	グリーン	正しいケーブルが使用され、接続機器の電源がオンになっています。 ・ 1、2 もしくは 3 が最高 100 Mbps で接続 ・ 4/HA が最高 1000 Mbps で接続
	グリーン点滅	トラフィック中です。
	オフ	接続が確立されていません。

工場出荷時設定

NAT/ルートモード IP アドレス

インタフェース	IP
内部	192.168.1.99
外部	192.168.100.99
1～4/HA	0.0.0.0

トランスペアレントモード IP アドレス

インタフェース	IP
管理用 IP	10.10.10.1

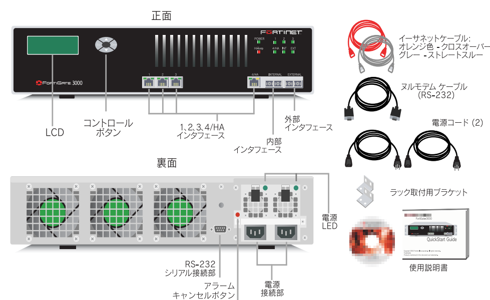
管理者アカウント設定

ユーザ名	パスワード
admin	なし

1 パッケージの内容を確認する

パッケージに次が揃っているかどうかを確認してください。

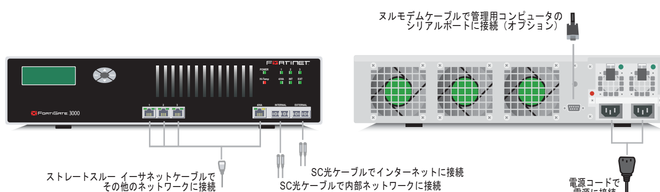
コネクタ	タイプ	スピード	プロトコル	用途
内部	SC	1000Base-SX	イーサネット	内部ネットワークにマルチモードの光ファイバー接続
外部	SC	1000Base-SX	イーサネット	インターネットにマルチモードの光ファイバー接続
1～3	RJ-45	10/100Base-T	イーサネット	他のネットワークに接続 (オプション)
4/HA	RJ-45	1000Base-T	イーサネット	銅製。他のネットワーク、または他の HA の FortiGate-3000 にギガビット接続 (オプション)
CONSOLE	DB-9	9,600 bps	RS-232 シリアル	管理用コンピュータに接続 (オプション)。コマンドラインインタフェースへのアクセスとなります。



2 FortiGate-3000 を接続する

FortiGate-3000 を、電源コンセント、内部ネットワーク、外部ネットワークに接続します。

- FortiGate-3000 を 19 インチの標準ラックに設置します。ラックには縦に 2 つの U ホールが必要です。
- 電源コードとネットワークケーブルを接続する前に、裏面の電源スイッチがオフになっていることを確認します。.
- システムが作動すると「メインメニュー」の表示に変わります。
- 接続している電源が一ヶ所だけで、電力の供給が停止した場合は、停電を知らせるアラームが鳴ります。アラームを止めるには、裏面の電源接続部の隣にある赤色のアラームキャンセルボタンを押してください。



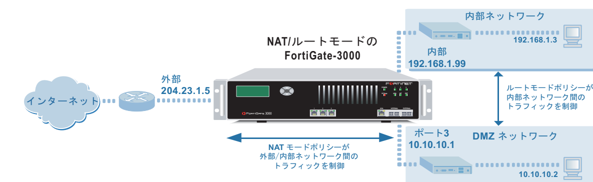
3 コンフィギュレーションプラン

FortiGate-3000 のコンフィギュレーションを始める前に、既存のネットワークにどのようにインテグレーションしていくか、プランを立てる必要があります。コンフィギュレーションは NAT/ ルートモード (デフォルト)、トランスペアレントモードのどちらの動作モードを選択するかによって決定されます。

NAT/ ルートモード

NAT/ ルートモードでは、FortiGate-3000 は接続されているネットワークから見える状態になります。インタフェースは全て異なるサブネット上になります。ネットワークに接続するインタフェースはそれぞれ、そのネットワークで有効な IP アドレスを設定する必要があります。

FortiGate-3000 をプライベートネットワークと公共ネットワークの間のゲートウェイとして使用する場合は通常、NAT/ ルートモードを使用します。NAT/ ルートモードをデフォルトとするコンフィギュレーションでは、FortiGate-3000 はファイアウォールとして機能し、そのポリシーが FortiGate-3000 を経由するコミュニケーションを管理します。ファイアウォールポリシーを設定するまでは、トラフィックは FortiGate-3000 を経由できません。



NAT/ ルートモードの場合、ファイアウォールポリシーは NAT モードもしくはルートモードで作動します。NAT モードの場合は、ネットワークアドレスを変換してから IP パケットを宛先ネットワークに送りますが、ルートモードでは変換はありません。

トランスペアレントモード

トランスペアレントモードにすると、ネットワークには FortiGate-3000 が見えません。インタフェースはすべて同じサブネットに置かれます。また、管理用 IP アドレスを設定するだけで コンフィギュレーションを変更できます。

既存のファイアウォールまたはルータの後にあるプライベートネットワーク上で FortiGate-3000 を使う場合は、一般的にトランスペアレントモードにします。デフォルトにトランスペアレントモードを設定すると FortiGate-3000 はファイアウォールとして機能し、ファイアウォールポリシーを設定するまでは、トラフィックは FortiGate-3000 を経由できません。

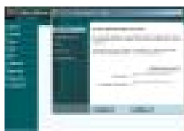


FortiGate-3000 は最高 6 つのネットワークセグメントに接続することができ、その間のトラフィックを制御します。

トラフィックの管理方法、および HA、ウィルス対策、ウェブコンテンツフィルタ、スパムフィルタ、侵入防御システム (IPS)、仮想プライベート通信網 (VPN) の設定方法についての詳細は、CD-ROM に収録されている各説明書を参照してください。

4 コンフィギュレーションツールの選択

FortiGate-3000 の 3 つのコンフィギュレーションツールからどれかひとつを選びます。

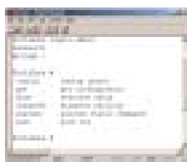


ウェブベースマネジャー／セットアップウィザード

FortiGate ウェブベースマネジャーのセットアップウィザードが段階を追って初期設定を指示します。管理者用パスワード、インタフェースアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスを設定します。オプションとして、内部サーバを NAT/ ルートモードに設定するためにセットアップウィザードを使うこともできます。

必要条件

- FortiGate-3000 と管理用コンピュータ間のイーサネット接続
- 管理用コンピュータ上に Internet Explorer バージョン 6.0 以上



ウェブベースマネジャー／セットアップウィザード

FortiGate ウェブベースマネジャーのセットアップウィザードが段階を追って初期設定を指示します。管理者用パスワード、内部 / 外部 /DMZ インタフェースアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスを設定します。オプションとして、内部サーバを NAT/ ルートモードに設定するためにセットアップウィザードを使うこともできます。

必要条件

- FortiGate-3000 と管理用コンピュータ間のイーサネット接続
- 管理用コンピュータ上に Internet Explorer バージョン 6.0 以上



コントロールボタンと LCD

FortiGate-3000 の正面にあるコントロールボタンと LCD を使用して内部インタフェース、外部インタフェース、ポート 3(DMZ) インタフェースおよびデフォルトゲートウェイアドレスを設定することができます。他のインタフェースアドレスおよび DNS サーバアドレスの設定にはウェブベースマネジャーまたは CLI を使用します。

必要条件

- FortiGate-3000 本体を直接操作できること

5 設定内容の情報をまとめる

FortiGate-3000 の設定内容を記録します。NAT/ ルートモードもしくはトランスペアレントモードの設定、あるいはいずれのモードにも適用できる一般設定を記録することができます。内部 / 外部ネットワークおよびその他 3 種類のインタフェースに設定を記録するには、以下のテーブルを使います。

NAT/ ルートモード

内部インタフェース	IP:	____.____.____.____
	Netmask:	____.____.____.____
外部インタフェース	IP:	____.____.____.____
	Netmask:	____.____.____.____
________ インタフェース	IP:	____.____.____.____
	Netmask:	____.____.____.____
________ インタフェース	IP:	____.____.____.____
	Netmask:	____.____.____.____
________ インタフェース	IP:	____.____.____.____
	Netmask:	____.____.____.____

内部インタフェースの IP アドレスおよび Netmask が内部ネットワークにおいて有効であることを確認してください。

トランスペアレントモード

管理用 IP:	IP:	____.____.____.____
	Netmask:	____.____.____.____

管理用 IP アドレスと Netmask が FortiGate-3000 の管理に使用するネットワークに対して有効であることを確認してください。

一般設定

管理者パスワード :		
ネットワーク設定 :	デフォルトゲートウェイ :	____.____.____.____
	プライマリ DNS サーバ :	____.____.____.____
	セカンダリ DNS サーバ :	____.____.____.____

FortiGate を経由してインターネットにアクセスする場合はデフォルトゲートウェイが必要です。

6 FortiGate-3000 を初期設定する

1. FortiGate-3000 の内部インタフェースを光ファイバネットワークに接続した後、同ネットワークを管理用コンピュータに接続します。

セットアップウィザードを使用する

2. 管理用コンピュータが FortiGate-3000 の接続されているインタフェースと同じサブネットに配置されるように設定します。内部インタフェースを使用している場合は、管理用コンピュータの IP アドレスを 192.168.1.2 に、Netmask を 255.255.255.0 にそれぞれ変更してください。
3. FortiGate のウェブベースマネジャーにアクセスするには、Internet Explorer を起動し、ブラウザを https://192.168.1.99 にポイントします (ポート 1 を使っている場合は、https://<port1_ip>)。(「https://」 には S が入っていますので注意してください。)
4. [名前] フィールドに 「admin」 と入力して、[ログイン] を選択します。

注 : 光ファイバを使用していない場合は、ポート 1 を使用してください。シリアル接続で CLI を用い、インタフェースを設定する必要があります。

```
    edit port1
        set ip <intf_ip> <netmask_ip>
        set allowaccess https ping
end
```

他のインタフェースと同じサブネットは使わないでください。

NAT ／ルートモード


Easy Setup Wizard を選択

FortiGate-3000 の初期設定にセットアップウィザードを使用する場合は、Easy Setup Wizard ボタンを選択し、、プロンプトに従ってください。

管理者パスワードの変更

1. System > Admin > Administrators の順に選択します。
2. 管理者用の Change Password を選択し、新たなパスワードを入力します。

インタフェースの設定

1. System > Network > Interface の順に選択します。
2. 各インタフェースに編集アイコンを選択し、初期設定します。
3. インタフェースのアドレッシングモードを設定します (詳細はオンラインヘルプを参照してください)。
   - 手動アドレッシングの場合は、インタフェースの IP アドレスと Netmask を入力してください。
   - DHCP アドレッシングの場合は、DHCP その他必要な設定を選択してください。
   - PPPoE アドレッシングの場合は、PPPoE を選択し、ユーザ名、パスワード、その他必要な設定を入力してください。

プライマリ／セカンダリ DNS サーバの IP アドレス初期設定

1. System > Network > DNS の順に選択し、プライマリ／セカンダリ DNS の IP アドレスを入力し、Apply を選択します。

デフォルトゲートウェイの初期設定

1. Router > Static の順に選択し、静的ルートの編集アイコンを選びます。
2. デフォルトゲートウェイの IP アドレスをデフォルトゲートウェイに設定し、OK をクリックします。

トランスペアレントモード

NAT/ ルートモードからトランスペアレントモードへの変更

1. System > Status の順に選び、Operation Mode の横の Change を選択して OK をクリックします。
2. 管理用コンピュータの IP アドレスを 10.10.10.2 に変更し、Internet Explorer を使用して https://10.10.10.1 にブラウズします。

セットアップウィザードを使用する

セットアップウィザードを使って FortiGate-3000 を初期設定する場合は、Easy Setup Wizard ボタンを選択し、プロンプトに従ってください。

ウェブベースマネージャを使用して管理者パスワードを変更します

1. System > Admin > Administrators の順に選択します。
2. 管理者用の Change Password を選択し、新たなパスワードを入力します。

ウェブベースマネージャを使用して管理用インタフェースを設定します

1. System > Network > Management の順に選択します。
2. 管理用 IP アドレスおよび Netmask を入力します。
3. 必要な場合は管理者アクセスオプションを選び、OK をクリックします。

プライマリ／セカンダリ DNS サーバの IP アドレス設定

1. System > Network > DNS の順に選択し、上記に従って登録したプライマリ／セカンダリ DNS の IP アドレスを入力し、Apply を選択します。

デフォルトゲートウェイの設定

1. System > Network > Management の順に選択します。
2. デフォルトゲートウェイの IP アドレスをデフォルトゲートウェイに設定し、OK をクリックします。

注意 : 内部インタフェースの IP アドレス (NAT/ ルートモードの場合) または管理用 IP アドレス (トランスペアレントモードの場合) を変更する場合、このアドレスを使用してウェブベースマネジャーとセットアップ ウィザードに再接続する必要があります。また管理用コンピュータの IP アドレスを変更して新 IP アドレスと同じサブネット上に来るようにしなくてはならない場合もあります。

コマンドラインインターフェースを使用する

1. シリアルケーブルを使用して FortiGate Console ポートを管理用コンピュータのシリアルポートに接続します。
2. 管理用コンピュータ上でターミナル エミュレーション用プログラム（HyperTerminal) を起動し、次のように設定します。ボーレート (bps)：9600、データビット：8、パリティ：なし、ストップビット：1、フロー制御： なし
3. Login: のプロンプトが表示されたら、admin と入力し、Enter を 2 回押します（パスワード不要）

NAT/ ルートモード

1. FortiGate-3000 内部インタフェースを設定します。

```
config system interface
   edit internal
       set mode static
       set ip <intf_ip> <netmask_ip>
end
```

2. 同様に、外部インタフェースなど各インタフェースを設定します。

```
config system interface
    edit external
        ...
```

3. プライマリ／セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

```
config system dns
    set primary <dns-server_ip>
    set secondary <dns-server_ip>
end
```

4. デフォルトゲートウェイを設定します

```
config router static
    edit 1
        set gateway <gateway_ip>
end
```

トランスペアレントモード

1. NAT/ ルートモードからトランスペアレントモードに変更します。

```
config system global
    set opmode transparent
end
```

2. しばらく待ち、プロンプトが表示された時点で再度ログインします。
3. 管理用 IP アドレスを設定します。

```
config system manageip
    set ip <mng_ip> <netmask>
end
```

DNS サーバ IP アドレスを設定します。

```
config system dns
    set primary <dns-server_ip>
    set secondary <dns-server_ip>
end
```

4. デフォルトルートを設定します。

```
config router static
    edit 1
        set gateway <gateway_ip>
end
```

コントロールボタンと LCD を使用する

- ［メインメニュー］などメニュー項目を選択する、IP アドレス入力時に右に移動する、または変更を確認する操作には Enter キーを使用します。
- ［メインメニュー］内を上下に移動する、または IP アドレスの数字を変更する操作には矢印キーを使用します。
- ［メインメニュー］に戻る、または IP 入力時に左に移動する操作には Esc キーを使用します。

注意: LCD が「FortiGate」と表示したら、［メインメニュー］が出るまで Esc キーを押し続けてください。

NAT/Route mode

Use the control buttons and LCD to:

NAT/ ルートモード

コントロールボタンと LCD を使用して次の操作を実行します。

- 内部、外部、ポート 3(DMZ) インタフェースの IP アドレスと Netmask を設定する。
- 外部インタフェースのデフォルトゲートウェイを設定する。

トランスペアレントモード

コントロールボタンと LCD を使用して次の操作を実行します。

- 動作モードを NAT/ ルートモードからトランスペアレントモードに変更する。
- 管理用 IP アドレスと Netmask を設定する。
- デフォルトゲートウェイを設定する。

注意：IP アドレスを入力する際、LCD ディスプレイは IP アドレス各部について常に 3 桁の数字を表示します。たとえば、IP アドレスが 192.168.100.1 の場合、LCD ディスプレイには 192.168.100.001 と表示されます。

7 コンフィギュレーションの完了

これで基本設定は完了。ネットワークはインターネット経由の脅威から保護されます。設定のオプションについての詳細は、オンラインヘルプもしくは CD-ROM に収録されている説明書を参照してください。

FortiGate-3000 の再設定

ネットワーク設定の変更を誤り、FortiGate-3000 に接続できない場合は、再起動して接続するか、いったん工場出荷時設定に戻してから設定し直してください。

- 再起動するには、System > Maintenance > ShutDown の順に選び、Reboot を選択します。　CLI: `execute reboot`
- リセットするには、System > Maintenance > Shutdown の順に選び、Reset to factory default（工場出荷時設定に戻る）を選択します。　CLI: `execute factoryreset`